

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら北沢

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4	1	1	同時刻の子どもの療育内容を工夫して、活動スペースが確保できるようにしている。引き続き、安全面や活動内容に配慮して行なっていく
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	3	本社や他スタジオと連絡を取り調整している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	1	完全なバリアフリー化は難しいが、必要に応じて手すりやスロープを検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	4	2	0	毎月の目標設定を行ない、その振り返りを職員全体で行なっていく
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	保護者のニーズを把握し、改善を行なっていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	0	保護者待合室に掲示するとともにHP上で公表予定
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	行っていない。今後の検討課題とする
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	社内研修、スタジオ内研修を行なっている。内容を全体で共有し、現場に活かしていく
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	研修を通して、特性の理解を深め子ども達の状態の把握を正確に捉えていけるようにしていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	ASQ3を導入しているが、年齢に合わない部分もある為、異なるツールで計測していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	0	朝礼・昼礼・終礼を含むミーティングで療育の質を高めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	朝礼・昼礼・終礼を含むミーティングで療育の質を高めていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	2	0	長期休暇にはイベントの企画や要望に応じて時間割の変更を行なっている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	必要に応じてスタジオ個別とあおぞら療育の併用をすすめる。また、小集団(あおぞら療育)での活動内容をより充実させていく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	毎回ミーティングを行なっている。専門性を高め、よりよい支援の充実をおこなっていく
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	0	0	毎回ミーティングを行なっている。業務日誌やサービス提供記録を活用し、情報の抜けがないよう共有を行なう
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	日々共有はしているが、データ化されていない部分もある為、記録の取り方を統一していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	毎月モニタリングを行ない、目標の達成具合や取り組み方の検討を行なっている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	0	0	保護者支援については今後の課題。研修等検討していく
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	会員の地域として、電話での聞き取りが多いため、よく担当している療育士で対応している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子ども				現在、保護者との間での情報共有が主となっている。学校とは

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら北沢

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	もの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	4	1	1	現在、保護者との間の情報共有が正しくなっている。学校との必要に応じて連携を取っていく
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	5	1	現在受け入れはしていないが必要に応じて連携を図っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	必要に応じて連携を取っていく
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	4	1	1	対象児の利用がない。機会ができれば共有の体制を構築する必要がある。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	0	協議会などの機会で行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	現在のところ機会がない。需要があれば、今後検討していく
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	2	管理者が参加している。現場スタッフも参加できるよう調整していく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	毎回フィードバックを行なっている。フィードバックの時間以外にも、時間やプライバシーに配慮して面談等行なえるよう努めていく
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	4	1	1	ペアレント・トレーニングは行なっていない。必要に応じて、適切な助言ができるよう研修を行なっていく
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時・変更があった際に行なっている。分かりやすい説明と内容の周知に努める
	㉛	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0	随時フィードバックの際に行なっているが、職員によってばらつきがある為、研修を行なうなどして全職員が対応できるよう努めていく
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	保護者会は年度代わりに実施している
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	受付体制の周知を行ない、迅速かつ適切に対応できるよう努めていく
	㉞	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	職員もHPの更新記事をチェックし、内容の把握を行なう
	㉟	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	鍵付きの書庫で管理しているが、営業時間内の事務室内の書類の整理整頓を徹底する
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	特性を把握し、情報共有して行なっている。フィードバックの時間以外でも保護者と密に連携が取れるよう、積極的にコミュニケーションをとっていく
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	0	イベントの際、地域のスーパーへ買い物に行く等の活動を行なっている。今後、地域参加も意識したイベント活動を検討する
非常時	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている。内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けている
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている。内容について保護者に周知し、訓練への参加を呼び掛けている
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	研修を実施している。定期的に事例検討などの研修を行い、虐待防止を徹底していく

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら北沢

時の対応	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	6	0	0	契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっている。定期的に事例検討などの研修を行い、適切に対応できるよう努めていく
④2	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	2	食物を扱うイベント実施の際は、事前に保護者に確認を取っている。引き続き、細心の注意を払っていく
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	終礼の際に全体で共有し、報告書の作成を行なっている。定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していく

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。